

出展技術概要書

技術名称	ロボコーン	担当部署	技術推進課
社名	西日本高速道路メンテナンス九州株式会社	担当者	栗原
住所	福岡市中央区舞鶴1-2-22天神ジャパンビル5F	電話番号	092-716-3700
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機		
	<p>高速道路における交通規制作業の実情として、一般車両が走行中、車両の荷台上に2～3名が乗車し、設置・撤去作業を行っています。作業中は、荷台上から半身を乗り出してラバーコーンの設置・撤去作業を行っていますが、作業時は白線を目印として20m間隔で設置するため、走行する一般車両を常に注視することが出来ない危険な状態でした。</p> <p>ロボコーンを開発・導入することで荷台での作業を省力化し、人員の削減と作業員の安全を確保することが可能になります。</p>		
	2. 技術の内容		
	<p>交通規制作業の中でもラバーコーンの設置・撤去は、作業員が一般車両と近接するため危険な作業です。ロボコーンは、ラバーコーンの設置・回収を自動化することで、作業員の取り逃しによるラバーコーンの落下や転倒を未然に防ぐことができます。また、作業員に負担の掛かる立標の積卸し作業も自動化し、作業員の労力を軽減します。</p>		
	3. 技術の効果		
<ul style="list-style-type: none"> ・作業員が荷台に乗車する必要がないため、安全に設置・回収作業ができます。 ・ラバーコーン設置・回収が自動化されるので運転手1名で作業ができます。 ・規制標識搭載式で積み下ろしが簡単にできるため、作業員の負担が軽減します。 			
4. 技術の適用範囲			
高速道路本線の規制作業			

ラバーコーン自動設置回収



作業員の安全性向上

規制作業中荷台乗車なし

運転手一名で設置回収可能

- ラバーコーン設置速度15km/h 延長2km(約8分)
- ラバーコーン回収速度10km/h 延長2km(約12分)
- 設置間隔:任意に設定可能(3パターン)

標識搭載型

標識が
起き上がり
手で立つ!

標識の
出し入れが
簡単



起き上がり9秒

油圧装置で

格納11秒



仕様

[主な性能]

	小型ロボコーン	ロボコーン
ベース車両	2t車	4t車
車幅(作業幅)	1,789(2,142)mm	2,199(2,491)mm
車長	6,780mm	7,705mm
全高	3,640mm	3,540mm
ラバーコーン搭載本数	80本	100本
中央ベルトコンベア部 (最大搭載本数)	(200本)	(300本)
工事標識最大搭載数	12本(14本)	16本(18本)
最大積積量	1,450kg	1,600kg



左側:小型ロボコーン 右側:ロボコーン

※ラバーコーンと標識の組合せ本数によっては最大積積量を上回る恐れがありますのでご注意ください。